

感染状況・医療提供体制の分析(2月16日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月9日時点)	現在の数値 (2月16日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	7258人 (386.7人)	5380人 (286.6人)	↓	<p>総括コメント</p> <p>レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要</p> <p>新規陽性者 <u>人口10万人当たり287人</u>と減少傾向だが、60歳以上陽性者割合は微増。また、高齢者が集まる場所でのクラスター発生は続く。</p> <p>感染者数の減少傾向は見られるが、入院・重症者数が減少に転じるまでは時間を要す。年度末で人流が増す時期までに、感染を更に抑え込むことが必要。ワクチン接種をしたとしても、基本的な感染対策継続と体調が悪い時は出勤・外出を控えることが重要。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	1134人 (16%)	920人 (17%)	↓	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	4307人	3034人	↓	
		県南西部	2470人	1884人	↓	
		高梁・新見	38人	66人	↑	
		真庭	47人	21人	↓	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	1391人 (調査中を除く)	1177人 (調査中を除く)	
割合 (③/①)			39% (調査中を除く)	36.8% (調査中を除く)	↓	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	293人 (53%)	306人 (55%)	↑	<p>総括コメント</p> <p>レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	141人	137人	→	<p>確保病床における入院割合は第5波を超え、高齢者の陽性者増加に伴い、中等症・重症患者が増加。救急搬送困難事案や医療従事者の欠勤など通常医療に対して大きな負荷がかかっている。</p>	
	⑥自宅療養者数	5536人	5316人	↓		
	⑦重症者数	11人	14人	↑		